

果敢に挑戦!



岩崎弥太郎



お龍



坂本龍馬



中岡慎太郎



ジョン万次郎

地域アクションプランの 成果と今後の展開

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

地域アクションプランの平成21年度の取り組み

本気で実行！ 産業振興計画



地域アクションプランに盛り込まれた221の事業



- 総合補助金、県の補助制度、国の支援制度などを活用し、**139の取り組み**が本格的に動き始める
(参考)総合補助金 **43件採択**(事業費:約20億円)
- 取り組み熟度が上がったプランが**40件**
- 新たな地域アクションプランへの位置付け:**22件**
削除・統合・分割を勘案し、
平成21年度221件⇒**平成22年度238件**

各地域アクションプランの状況 《H21年度～H22年度》

本気で実行！ 産業振興計画



地域AP集計表

地域	H21.4.1時点	H21.9.25時点	H22年度地域APの追加等										
	H21AP数	第1回フォローアップ委員会後のH21AP数	追加	削除	統合	分割	AP数小計	H22 AP数	取組熟度(仕分)の状況				
									B→A	C→A	C→B	小計	A→B
安芸	34	34	1				1	35	4		2	6	
物部川	22	22			2⇒1	1⇒2		22	2	4	5	11	
高知市	37	37	2	▲ 1			1	38	2	1	1	4	
嶺北	18	18	4			1⇒2	5	23					
仁淀川	35	35	1		2⇒1	1⇒2	1	36	3	1		4	
高幡	38	38	5		11⇒5		▲ 1	37	5	4	5	14	1
幡多	37	38	9			(1⇒2)	9	47		1		1	2
合計	221	222	22	▲ 1	▲ 8	3	16	238	16	11	13	40	3

H22年度追加地域AP

地域	追加 A P 名	地域	追加 A P 名
安芸	22. 地場産品直販所「かつぱ市」の機能強化	高幡	9. 四万十町の有機野菜を使った加工品の開発・販売の拡大 10. 四万十の栗再生プロジェクト 11. 四万十町地産外商の推進 17. 津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大 26. シイラ加工食品の生産拡大
物部川	—		
高知市	10. 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上 29. 高知にぎわい東西軸活性化プラン(仮称)に基づく中心部の活性化		
嶺北	7. JA出資型法人による地域活性化の取組 17. 木質バイオマス利用拡大の取組 22. 白髪山、工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組 23. 早明浦ダムを活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組	幡多	8. 芋等、持続可能な農業の仕組みづくり事業 18. 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭及び祝風の産業化 21. 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の整備 22. 民間企業との連携による水産物の販路拡大 23. サメ漁業復活に向けた取組 32. 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト 34. 苺を核とした6次産業化
仁淀川	2. 加工用ワサビの加工の促進		41. 竜串ふれあい観光施設整備事業 42. 土佐清水まるごと戦略観光展開事業



安芸地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

1. 安芸地域の成果(代表例)①

重点的な取組

○ 二つの日本一を有する産地 機能の維持・強化

21-1(22-1)「まとまりのあるナスの産地づくり」 JA土佐あき(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村)

- ・ 学び教えあう場 20ヶ所設置
- ・ 各地区で研究会、勉強会を開催 等

【課題】

品質の向上と収量アップ

21-2(22-2)「ユズを中心とした中山間地域の農業振興」 JA土佐あき、JA馬路村(室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村)

- ・ ユズ搾汁施設の高度化(北川村)
- ・ 農作業サポートの仕組み作り 等

【課題】

搾汁施設の老朽化(北川村)、労働力の低下

成果

■ 土佐鷹の作付面積

H21園年:16.5ha → H22園年:23.6ha

■ 高収量農家(18t/反 以上)の増加

H20:65戸 → H21:67戸



土佐鷹



学び教えあう場

【課題】 部会研究会等の更なる活性化

■ ユズ搾汁施設の高度化(北川村)

10/26竣工(総事業費3億7359万円)

搾汁実績 H20:1,190t → H21:2,070t



北川村搾汁施設

【課題】ユズ酢の販売強化、青果玉出荷率の向上

1. 安芸地域の成果(代表例)②

重点的な取組

○ 環境保全型農業のさらなる推進

21-3(22-3)「環境保全型農業の推進」

JA土佐あき、環境保全型農業実践農家グループ

(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、

北川村、芸西村)

- ・こうち環境・安全・安心点検シートの普及
- ・土着天敵を用いたIPM技術による防除対策の確立と普及
- ・エコシステム栽培の推進 * (注)

* (注) 園芸連が、生産者の取組を認証し表示する制度

【課題】

天敵導入の促進と
エコシステム栽培の推進

成果

■ 天敵導入率

ナス H20:25.6% → H21:30%

ピーマン H20:95.5% → H21:100%

■ エコシステム栽培農家数(ナス・ピーマン)

H20:508戸 → H21:519戸



土着天敵



タバコカスミカメ

環境保全型農業の取組に関連する
安芸農業振興センターの普及活動が
『平成21年度普及活動全国コンクール』
において農林水産大臣賞を受賞

【課題】エコシステム栽培の更なる推進

1. 安芸地域の成果(代表例)③

重点的な取組

- 豊かな森林資源を活かす林業再生への取組

21-8(22-8)「林業再生事業(「森の工場づくり」など)」 各森林組合(安芸地域全域)

- ・ 森林組合による森林所有者への提案型施業の推進 等

【課題】

- ・ 効率的な作業道や施業のシステム整備

21-11(22-11)「林業加工品の販売促進」

エコアス馬路村(馬路村)

- ・ モナッカ以外の新商品の開発と既存商品を含めた販売拡大

【課題】

新商品の開発と販路の拡大

成果

- 提案型施業のベースとなる提案書入力フォームの作成に着手
- 所有者・境界・施業履歴等のデータベース化に着手
東部森林組合 1名(H21.8~)新規雇用

- 【課題】
- ・ 施業提案能力の向上
 - ・ 森林境界明確化の推進

- デザインコンペにより選出された6点につき新商品を試作
- 国内外展示会出展(東京ビッグサイト、フランス)
→ 新規業務筋顧客との契約12件(既存商品)



- 【課題】 試作品の商品化と販路獲得

1. 安芸地域の成果(代表例)④

重点的な取組

○ 漁家所得向上への取組

21-14(22-14)「低価格な定置網漁獲物の販売戦略」 県漁協、(有)タカシン水産(室戸市)

- ・ 定置網の漁獲主体である低価格魚の利用用途の拡大

【課題】
商品開発等について低価格魚の現地加工

成果

- 旧活魚センター施設(佐喜浜)内に加工施設を整備(総事業費6,400万)H22.2.28竣工
シメ鯖・塩鯖・切り鯖加工
…目標:200t/年加工、販売額1億円、雇用11名
加工業者や漁協と連携した新たな商品開発



【課題】 企業・漁協・行政の連携体制の強化

1. 安芸地域の成果(代表例)⑤



重点的な取組

成果

○ 広域的に連携した観光の仕組みづくり

龍馬伝

21-26(22-27)「龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルート確立等」

生産者、加工業者、作陶家等(安芸市)

【課題】
特産品開発と周遊ルートの確定

21-34(22-35)「龍馬伝を活かした観光振興」 龍馬伝・慎太郎推進協議会(北川村)

【課題】
核となる中岡慎太郎館の満足度アップ

- 広域周遊バスの運行開始(H22.1.16～23.1.10)
- ウォーキングコース、レンタサイクルコースの設定
- 土産物品開発(5点)



・安芸岩崎弥太郎こころざし社中開設 (H 22.1.16～23.1.10)

【課題】
・一過性に終わらせない情報提供等
・サテライトから周辺地域への誘致

■ 中岡慎太郎館リニューアル(総事業費4,920万円)
(H22.1.9オープン)



【課題】
・一過性に終わらせない情報提供等
・中芸地域への誘致

1. 安芸地域の成果(代表例)⑥

重点的な取組

21-29(22-30)「魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大」

中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会
(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)

- 【課題】・重要文化財の指定
- ・誘客と受入体制の整備

21-23(22-24)「地質資源を活かした交流人口の増加(世界ジオパーク認証に向けた取組)」

室戸ジオパーク推進協議会、室戸市観光協会(室戸市)

- 【課題】・世界ジオパークの認証
- ・誘客と受入体制の整備

21-22(22-23)「体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」

安芸広域市町村圏事務組合(安芸地域全域)

- 【課題】・地域ガイド組織の充実
- ・ランドオペレーターを核としたネットワーク体制の確立

成果

- H21.6 重要文化財指定 18ヶ所
- WEBミュージアムの開設(H22.3)
- ガイド 15名養成中
- 案内板の設置(19ヶ所)



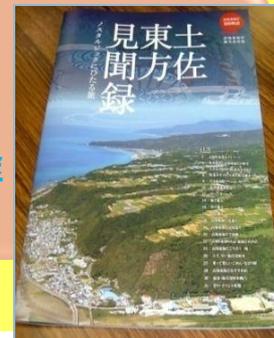
【課題】地域内でのビジターセンターの設置

- H20.12 日本ジオパーク認定
- 世界ジオパークに向けた取り組み
H21.10…日本候補 落選
レベルアップしたH22世界申請書の作成 等
- 遊歩道及び案内板の整備・HPの開設・ジオガイドの養成
(新規認定14名 総計21名)



- 【課題】・運営組織の整備
- ・地域ぐるみの取組と活動実績の積み上げ

- 旅行プラン作成(4分野・22プラン)
- 東部観光素材集、DVDの作成
- 旅行エージェント等への営業活動
- ランドオペレーター設置の実現に目途
(H22年度予定)



- 【課題】・地域ガイド組織の充実
- ・ランドオペレーターを核としたネットワーク体制の確立

1. 安芸地域の成果(代表例)⑦

他に動きのあった取組

21-9(22-9)「上土佐備長炭販売促進事業」

室戸市木炭振興会(室戸市)

土佐備長炭生産組合(東洋町)

【課題】

生産・出荷・販売体制の強化と
新規製炭者の育成

成 果

- 室戸市…H21 2基設置(研修窯)
H22 4基設置を計画
(研修窯2基、共同窯2基)
- 東洋町…H21 2基設置(共同窯)
H22 2基設置を計画(共同窯)

※生産増・新規製炭者育成(14名育成)
H23までに800t、3割の生産増を目指す



【課題】 室戸市、東洋町の一元化に向けた検討

1. 安芸地域の成果(代表例)⑧

他に動きのあった取組

21-12(22-12)「キンメダイのブランド化に向けた取組」

芸東水産業改良普及協議会(室戸市・奈半利町)

- 【課題】・消費地情報の収集
- ・脂肪含有量の分析とデータの蓄積

21-16(22-16)「加領郷ブランドによる地域の活性化」 県漁協加領郷支所 (奈半利町)

- 【課題】 ブランドの定義付けと選定

21-24(22-25)「海への駅とろむ」を核とした交流人口の拡大」

NPO室戸ドルフィンプロジェクト、県漁協(室戸市)

【室戸ドルフィンセンター】

イルカとの触れ合い体験事業の本格展開に向けた取組
【ダイビング】

室戸の半島地形を活用した事業化
※漁業者との調整の遅れ

- 【課題】
- ・イルカとの触れ合い体験事業の誘客増に向けた取組
- ・室戸の半島地形を活用したダイビングの事業化

成 果

- ブランド化に向けた取り組み
- ・情報収集…消費地市場調査、他県戦略調査の実施
- ・脂肪含有量の測定開始

【課題】ブランド化の方向性の確立



- スルメイカの船上天日干し
- 金目の炊き込みご飯

⇒ブランド認定



【課題】ブランド化に向けた定義や規格の確立

- プログラム(ドルフィンスイム)の充実
- 来場者(4月~翌1月)
- H20:18,923人→H21:21,596人
- クリアカヌーの導入 等



【課題】 [ダイビング] 漁業者との調整

1. 安芸地域の追加・拡充項目(代表例)

追加項目

□ 22-22 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化

事業主体：芸西村、芸西商工会、(有)かっぱ市

拡充項目

- 21-2 (22-2) 「ユズを中心とした中山間地域の農業振興」に、JA馬路村のユズ茶加工ライン整備を追加
- 21-15 (22-15) 「新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上」の事業実施主体に漁協・水産加工業者を追加し、生産性の向上対策等を掲載
- 21-22 (22-23) 「体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」の事業実施主体に民間事業者を追加し、旅行商品化や営業体制、ランドオペレーターの人材育成、雇用の項目を追加
- 21-23 (22-24) 「地質資源を活かした交流人口の増加（世界ジオパーク認証に向けた取組）」の計画内容を、地域の盛り上がりや世界認証に向けた具体策の記載に修正

地場産品直販所『かっぱ市』の機能強化

—花卉コーナーの充実と新商品開発—

【事業主体：芸西村、(有)かっぱ市】

花の主産地 芸西村

- 花卉の種類は県下随一
 - 花卉栽培技術は全国トップレベル
- ブルースター 生産量 日本一

花の生産額の 推移

園芸年度	戸数	面積(ha)	売上額 (集出荷場分)
10	57 (329)	17.2 (84.3)	4.9億 (33.4億)
19	70 (251)	13.6 (62.6)	3.5億 (20.5億)
21	70 (237)	12.9 (57.8)	3.7億 (21.3億)

注) 上段 芸西村の花卉
() 芸西村の園芸品と花卉

機能強化

- ・ 売り場面積の拡充
花卉コーナー、
新商品コーナー設置
- ・ スtockヤードの確保
- ・ 安定供給体制づくり
- ・ 村内産品（ピーマン、
黒砂糖等）を使った新
商品の開発

かっぱ市の 独自性のアピール

- ・ 花を中心とした種類と
出品量の増
- ・ 芸西村の花の情報発信
- ・ 新商品の提供

売り上げ 1億円以上を目標

花の振興

既存生産～販売対策の継続



ブルースター

地域の活性化に一役



物部川地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

2. 物部川地域の成果(代表例)①

重点的な取組

- 産地のまとまりを基調とした生産から販売までを見通した取組

21-2 (22-2, 22-3)「香南市・香美市の園芸主幹品目の振興」 香南市、香美市、JAとさかみ、県（香南市・香美市）

【取組の内容】
生産上の対策、流通・販売上の対策

21-1 (22-1)「南国市の園芸主幹品目の振興」南国市、JA南国市、JA長岡、JA十市、県（南国市）

【取組の内容】
生産上の対策、流通・販売上の対策



成果

- ・ナス選果場(総事業費3,675万円)
9/30竣工(香南市)
⇒販売量(H20 1,052t→H21 1,063t)
- ・夜須のエメラルドメロンのブランド力強化対策事業(総事業費1,550万円)
12/28竣工(香南市)
⇒日射比例かん水制御システムの導入により省力化され、作業性が向上(7戸、10台、導入面積 3.1ha)
- ・現地検討会の実施・・29回(南国市)
増収に向けた病虫害防除等の意見交換を実施し、技術向上に努力
- ・消費宣伝・・東京、大阪、京都(南国市)
産地と消費地の信頼関係の醸成

2. 物部川地域の成果(代表例)②

重点的な取組

成果

○ 地産地消・食育の推進



21-3 (22-4) 「地産地消・食育の推進」

(嵯道の駅南国、南国市他 (南国市))

【取組の内容】

地産地消のさらなる推進を図る

21-4 (22-5) 「生産者と消費者をつなぐ 場づくり～まずは農家レストラン～」

(南国市)

【取組の内容】

生産者と消費者をつなぐ仕組みとしての「農家レストラン」の立ち上げ

・南国市の全小学校(13校)への給食用食材(野菜・果物)の定期的な配送体制を実現

⇒ **学校給食への供給割合(2学期末比較)**
(H19 5.1% → H21 6.9%)

【今後の方向性】

学校給食への供給量の増大に向け調整
民間レベルへの取り組みの拡大

・候補地を1か所に絞り、農家レストランの22年度中開設を目指して関係者で調整中

【今後の方向性】

運営にあたって具体的に調整
運営(調理)グループの確保

2. 物部川地域の成果(代表例)③

重点的な取組

○ 豊富な地域資源を活用した1.5次産業化の推進

21-5 (22-6)「地域の特産品づくり～農産物加工への取組～」(南国市)

21-7 (22-8)「農産物加工等への取組計画」(香南市)

21-10 (22-11)「香美市ブランドの確立・特産品づくり」(香美市)

【取組の内容】

食品加工への取り組みの基盤づくり 等

21-15 (22-15)「シイラの加工商材活用」

高知県漁協(手結支所)(香南市)

【取組の内容】

施設整備・前処理加工の実施 等

成果



- ・新規に商品開発に取り組むなどにより市販を開始した商品数
⇒南国市16品目(例:空弁、肉みそ)
香南市 4品目(例:潮風バーガー、山北みかんリキュール)
香美市 6品目(例:紅葉バーガー、「しおゆず」)

- ・シイラ加工施設改修工事
(総事業費1,501万円)3/26竣工(香南市)
⇒一次加工による商品価値の向上、
地域雇用の拡大。H21年度加工実績
(処理量:約50t 販売額:約350万円)

【今後の方向性】

新規販売先の開拓 等

2. 物部川地域の成果(代表例)④

重点的な取組

成果

○ 地域に育つ県産材の有効活用

21-12 (22-12)「民有林における間伐の推進」各森林組合、林業事業体他(物部川地域全域)

【取組の内容】

木材価格の低迷、不在村地主対応 等

21-13 (22-13)「木質バイオマスの活用に向けての取組」

香南市、香美市、南国市(物部川地域全域)

【取組の内容】

需要者開発、原料の安定供給体制の整備 等

21-14 (22-14)「県産材の利用推進」

南国市、香南市、香美市、県(物部川地域全域)

【取組の内容】

県産材利用の民間への波及 等

- ・森の工場・作業道整備
⇒**設定面積の追加**
(H21当初 4,345ha→5,875ha)
- ⇒作業道開設 → 32,600m
- ・農業用ペレットボイラーの整備
⇒**ペレットボイラーの導入開始**
(H20 0台 → H21 1台 →
H23 41台(予定))
- ⇒**ペレット利用開始**
(H20 0t → H21 30t →
H23 1,230t(予定))



2. 物部川地域の成果(代表例)⑤

重点的な取組

○ 歴史と伝統ある地場産業の振興

21-18 (22-18)「地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興」土佐打刃物、フラフ事業者(香美市)

【取組の内容】

伝統的技術産業の一般市場への浸透
工芸品としての魅力のPR
技術の応用による新商品の開発
一般消費者との接点の工夫



成果



- ・新市場開拓の一環として、「協働の森」事業向けのロゴ入り鋸等の見本を県環境共生課に提供し、1月からPR
⇒**受注実績・・・鋸20本**
- ・高知工科大学商品開発グループによる土佐打刃物の新商品の試作、検討
- ・モニターツアーの体験コースでフラフ染め体験を試験的に実施し、客船のオプションツアー商品として企画提案中

2. 物部川地域の成果(代表例)⑥

重点的な取組

○ 広域連携を視野に入れた観光ネットワークづくり

21-19 (22-19)「観光交流のネットワークづくり」

(南国市)

21-20 (22-20)「歴史的資源を活用した地域活性化への取組～土佐のまほろば～」(南国市)

21-21 (22-21)「体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン」(香南市)

21-22 (22-22)「観光交流の受け皿づくり」

(香美市)

各市の地域雇用創造[創出推進]協議会、観光協会他

【課題】

ガイド等人材の育成、担い手組織の整備とネットワーク化、関係組織間の役割分担の明確化 など

成果

- ・南国市
 - ⇒幕末史跡ツアー(2月～5月)等実施
 - ⇒坂本龍馬才谷保存会の結成
 - ・香南市
 - ⇒タリフ[料金・行程表]集の完成
 - ⇒モニターツアーの実施 3回
 - ・香美市
 - ⇒「香美市いんふおめーしょん」開設 (H22. 4. 1 JR土佐山田駅構内)
 - ⇒客船のオプションツアーの誘致 (にっぽん丸の「田植え体験ツアー」 H22. 4. 8実施)
 - ⇒モニターツアーの実施 2回
- *3市とも観光ガイド等養成講座を実施



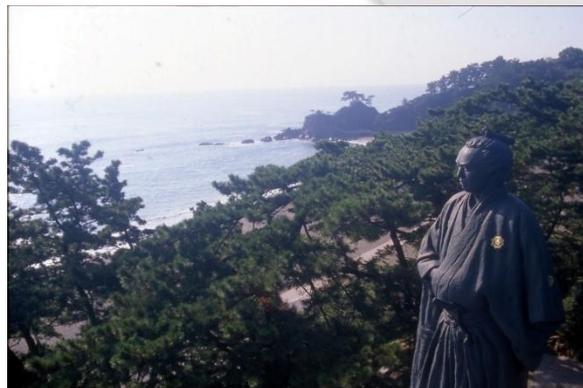
2. 物部川地域の追加・拡充項目(代表例)

一次産業の拡充

- 「21-2香南市・香美市の園芸主幹品目の振興」を「22-2香南市・香美市の基幹園芸品目の販売力向上対策」、「22-3香南市・香美市の基幹園芸品目の産地力強化」に分割(※ユズについては「22-10生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策」に統合)
- 「21-9物部のユズを総合的に売り出す取組～ユズのトータルステーション(拠点)の構築～」と「21-11作業者の確保～「雇いたい人」「働きたい人」のマッチング～」を「22-10生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策」に統合
- 「21-3(22-4)地産地消・食育の推進」「21-4(22-5)生産者と消費者をつなぐ場づくり～まずは農家レストラン～」 「21-5(22-6)地域の特産品づくり～農産物加工への取組～」 「21-10(22-11)香美市ブランドの確立・特産品づくり」の事業主体及び目標等を明確化

商工業・観光の拡充

- 「21-16(22-16)ごめんをブランド化～トライアングルゾーンの活性化～」 「21-19(22-19)観光交流のネットワークづくり(観光推進体制の確立強化)」 「21-22(22-22)観光交流の受け皿づくり」などの事業主体及び目標等を明確化



高知市地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

3. 高知市地域の成果(代表例)①

重点的な取組

地域の特色を活かした多様な農業の展開

21-3(22-3)「ユズを核とした中山間農業の活性化」 JA高知市土佐山柚子生産組合

【取組の内容】

ユズ搾汁施設の整備
優良母樹の確保と優良苗の生産出荷予測システムの見直しによる予測速度の向上と販売強化
供給体制の整備
有機に準じた栽培支援
ユズ振興計画の実現



成果

土佐山地区に新たなユズ搾汁施設を整備

◆搾汁率が16.6%(旧施設)
⇒ 18.8%に向上

◆その経済効果は約2,300万円

【今後の方向性】

- ・搾汁過程の効率化
- ・ユズ皮等の有利販売先の確保
- ・特に新規栽培者の栽培管理技術の向上
- ・優良母樹等の確保

3. 高知市地域の成果(代表例)②

重点的な取組

地域の特色を活かした多様な農業の展開

21-8(22-8)「稲ホールクroppサイレージを核にした耕畜連携の推進と二期作文化の復活」

高知市酪農農業協同組合

【取組の内容】

耕種農家(稲生産者)と畜産農家(酪農家)の連携(両者とも収益が出るシステム)
高価な専用機械の導入



成果

飼料専用コンバインや自走式ラッピングマシン等を整備

◆21年度は機械導入で19haの収穫を達成

◆波及効果

- ①高知市五台山地区・布師田地区でそれぞれ2ha程度の一期飼料作を予定
- ②JA高知はたが10ha分の専用品種の種を注文

【今後の方向性】

農畜連携の拡がりにつなげる
飼料稲の収量の向上

23年度目標の30haに向けた一期作の拡大

3. 高知市地域の成果(代表例)③

重点的な取組

地域の特色を活かした多様な農業の展開

21-1(22-1)「地域の基幹品目の振興」

トマト、ショウガ、新高ナシ

:JA高知春野、JA高知市

【取組の内容】

生産の高収量・高品質化
高知のブランドをPRする流通・販売対策



成果

◆ トマト、ショウガ等の加工品の商品化や新高ナシのリキュールやシャーベットの試作
⇒ 高知ブランドのPRをねらう。

【今後の方向性】

販路の拡大に向けた取組

3. 高知市地域の成果(代表例)④

重点的な取組

中心商店街での販売拠点づくり

21-26(22-26)「中心商店街での アンテナショップの開設」

(株)まこと

【取組の内容】

国、県、高知市、事業者の連携と行政の支援
事業の詳細決定と具体化(店舗改装、従業員の採用・研修、POSシステム開発、HP作成等)
県内各地域からの商品集め



成果

県産品アンテナショップ「てんこす」
新京橋プラザにH22.2.19オープン

◆県内の市町村から集めた約600点を超える
商品が陳列され、カフェも併設

◆33市町村(53種類)の観光等のパンフレットを置
くことによる市町村の各種情報発信

【今後の方向性】

県産品の新たな発掘や各種情報発信機能の充実
商店街の活性化

3. 高知市地域の成果(代表例)⑥

重点的な取組

魅力ある観光戦略の展開

21-35(22-36)「『龍馬伝』を契機とした観光の振興」(その2) (高知市)

【取組の内容】

まち歩きコースの設定



成果

坂本龍馬ゆかりの史跡めぐりを中心に新たなまち歩きコースの設定

⇒龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～
H21.10開始 6コース

(※10月から3月14日までの参加実績: 648人)

【今後の方向性】

まち歩きコースのさらなる拡充

3. 高知市地域の成果(代表例)⑦

重点的な取組

魅力ある観光戦略の展開

21-35(22-36)「『龍馬伝』を契機とした観光の振興」(その3) (NPO法人きらり高知都市づくり)

【取組の内容】

観覧船の受入体制の充実



成果

高知市観光遊覧船の運営態勢の強化
⇒観光遊覧船の3隻目の導入
(H22.3運航開始)

※最大乗船人数

24人⇒36人に増加し、
団体客を一度に受入可能

(H20年度実績 → H22年度見込み)
3,537人 5,650人

【今後の方向性】

観光客の他の観光地への誘導策の検討

3. 高知市地域の成果(代表例)⑧

他に動きのあった取組

21-31(22-32)「映画を通じた『よさこい』発祥の地としてのアピールと観光客の誘致」

(高知市、高知市旅館ホテル協同組合)

【取組の内容】

映画を誘客につなげる方策

21-33(22-34)「『エンジン01オープンカレッジin高知』の開催を契機とした交流人口の拡大」(高知市、関係団体)

【取組の内容】

エンジン01会員を介しての県外観光客の誘致

成 果

- ◆ 映画「君が踊る、夏」の製作に係る支援
- ◆ 9月公開にあわせたロケ地観光ルートを検討

- ◆ 各界の著名人約120名参加、そのうち観光特使に25名が新しく就任
- ◆ 土佐の「おきゃく」2010の「土佐の夜楽」追加プログラムとして著名人の一部が再訪を果たす
- ◆ エンジン02(H22開催検討)
- ◆ エンジン03(H23開催検討)

3. 高知市地域の追加・拡充項目(代表例)

追加項目

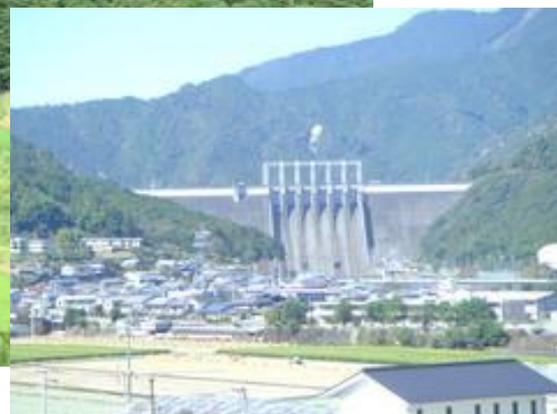
1. 22-10 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上

- ・事業主体: 民間事業者

2. 22-29 高知にぎわい東西軸活性化プラン(仮称) に基づく中心部の活性化

- ・はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリアを活性化の重点地域と位置づける。
- ・「歴史」「文化」「食」を柱とした事業を展開することにより、地元で支持される商店街づくり、まち歩き観光の拡充を通じて、当該エリアの活性化を実現していく。
- ・事業主体: 県、高知市、民間事業者





嶺北地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

4. 嶺北地域の成果(代表例)①

重点的な取組

成果

- “れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工の拠点化

21-1(22-1,22-2)「れいほくブランドの園芸産地の確立とユズの加工拠点づくり」

JA土佐れいほく等(嶺北地域全域)

【取組の内容】

「れいほく八菜」の生産技術の高度化
ノーブルの球根供給システム・生産技術の確立
ユズ加工施設整備(搾汁・ジュース充填設備等)
有利販売の取組(集荷体制の充実、
販売拠点づくり等)



- ・ユズ加工施設の整備
搾汁設備、ジュース充填設備の整備(22年度)に向け
国に事業計画書の提出(3月、採択の有無は4月に判明)
- ・ユズ加工品の海外への進出(シンガポール等)
- ・れいほく製品の有利販売に向けて
取扱店の確保(嶺北コーナーの開設)
コープ香川宇多津店等5店舗(21.6~順次)
JA高知直販店2か所(22.3~)
- ・直販向け集荷システム(土佐町)
集荷システムの構築を目指し試行を開始(21.10~)
併せて、加工・栽培学習会を実施
- ・関西地域でマーケティング調査を実施
れいほく八菜等。土佐産直サテライトセンター(とさ千里)を視野に入れ実施

※総合補助金の導入
(販促・PR活動、有利販売・集荷のための備品整備、
マーケティング調査等)

【今後の方向性】

- ・ユズの加工施設整備
- ・基幹品目の高品質・安定生産、有望品目の生産拡大

4. 嶺北地域の成果(代表例)②

重点的な取組

成果

○ 肉用牛産業の経営安定化 及び新たな畜産業の展開

21-6 (22-8)「肉用牛飼育の競争力の確保による肉用牛産業の再興」

本山町、土佐町、大豊町(本山町、土佐町、大豊町)

【取組の内容】

公営牧場の整備、子牛価格の安定

21-7 (22-9)「大川黒牛の再興による地域の活性化」 大川村、大川村和牛生産組合(大川村)

【取組の内容】生産から販売のシステムづくり

21-8 (22-10) 土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開」大川村、大川村ふるさと村公社(大川村)

【取組の内容】10万羽生産体制の施設整備
生産から販売の体制づくり
販路開拓、加工品開発

＜土佐はちきん地鶏＞

・(株)むらびと本舗設立(21年4月)
生産～処理～販売の取組推進

・育成舎の整備

年間6万羽の生産体制の整備

(21年度:5.1万羽生産)

(平成22年度は、専用処理施設を整備予定)

・販売促進・PR活動

土佐はちきん地鶏振興協議会を中心に実施

・新規雇用

8名(ふるさと雇用再生特別基金事業)

※総合補助金の導入(育成舎等の整備)

【今後の方向性】

・年間10万羽の生産・処理体制の整備

4. 嶺北地域の成果(代表例)③

重点的な取組

○ 嶺北材の増産及び販路拡大

21-9 (22-11)「間伐推進と木材増産による林業振興」 各森林組合等(嶺北地域全域)

【取組の内容】

森の工場の推進、林業担い手育成確保

21-10 (22-12)『れいほくスケルトン』の性能向上及び販売促進」嶺北材ブランド化協議会(嶺北地域全域)

【取組の内容】

原木集荷機能、プレカット体制の強化



成果

<間伐促進と木材増産>

- ・森の工場 :更新2団体、拡大3団体
- ・間伐 :973.30ha(前年 941.65ha)
- ・作業道開設:34,030m(前年 34,675m)

【今後の方向性】

- ・森の工場の拡大

<れいほくスケルトン>

- ・建築受注(嶺北材の活用):約200棟
(うち、れいほくスケルトン仕様49棟)
- ・土佐町町営住宅モデルハウス完成(2月)
- ・公共施設への導入
(宇多津町コミュニティホール等)
- ・新規雇用
1名(ふるさと雇用再生特別基金事業)

【今後の方向性】

- ・供給体制(製品の供給体制、組織体制)の整備

4. 嶺北地域の成果(代表例)④

他に動きのあった取組

21-2(22-3) 集落営農で元気な地域づくり」吉延営農組合等(嶺北地域全域)

【取組の内容】

リーダー育成及び合意形成機能の強化
生産基盤(共同利用機器、耕作道等)整備
園芸品目等の導入と定着
新たな営農組織への取組



成 果

<こうち型集落営農モデル組織>

1組織→2組織

吉延営農組合(本山町、平成20年度～)

有望品目:ブランド米、ショウガ、ジネンジョ

→22年度はモデル最終年度(ミニライスセンター整備)

伊勢川営農組合(土佐町、平成21年度～)

「受託」「園芸」「直販・加工」の3部会

園芸実証ほでの栽培管理

直販栽培・加工学習会の開催

集落営農ビジョン、営農計画の策定

【今後の方向性】

- ・組織内の農業経営の担い手育成

<集落営農組織>

3組織→4組織 (モデル組織を含む)

他に3地域で組織化を検討中

【今後の方向性】

- ・集落営農の組織化を推進するコーディネーターの育成

4. 嶺北地域の成果(代表例)⑤

他に動きのあった取組

21-3(22-4) 米粉を活用したビジネスの展開」 JA土佐れいほく(土佐町、本山町、大豊町)

【取組の内容】

米粉用品種の選定・栽培普及
関西圏も視野に入れた販売戦略の構築
加工製品の開発・販売
米粉の里構想の実現



成 果

<米粉工場、米米ハート>

- ・事業開始:平成21年4月～
- ・米粉の特徴
製粉時のデンプンの損傷が少ない、きめ細かく適度なしっとり感→料理等の素材として好評
- ・米粉(加工品)
米粉入りうどん、土佐竜馬麺、パン・菓子(米米ハートで100種類以上を商品化)
カステラ(NPO法人れいほくの里どんぐり(障害者作業所)で商品化)
- ・販売額(米粉を含む) :4,080万円
- ・関西地域でマーケティング調査の実施(再掲)
- ・米粉製造 :38t(21年度)→100t(22年度予定)
- ・米粉用米作付面積 :10ha(21年度)→20ha(22年度予定)

<米粉の里を目指して>

- ～嶺北といえば米粉、米粉といえば嶺北～
- ・米粉の里ガイドマップ作成(飲食店、米粉商品取扱店18店舗を紹介)
- ・米粉料理スタンプラリーを開催中(22.2.27～4.11)
- ・新規雇用:5名(ふるさと雇用再生特別基金事業2、その他3)

※総合補助金の導入

(保管庫・冷凍庫等の整備、販促・PR活動、マーケティング調査等)

【今後の方向性】

- ・米粉加工品の開発・販売、関西方面への販促活動、米粉の里構想の推進

4. 嶺北地域の成果(代表例)⑥

他に動きのあった取組

21-4(22-5)「米のブランド化による稲作農業の展開」

本山町特産品ブランド化推進協議会(本山町)

【取組の内容】

ブランド米の生産拡大

販売戦略の構築と販路拡大



成 果

- ・「土佐天空の郷」と命名し21年度より販売開始
 - ・地理的条件の厳しい棚田
 - ↓ 稲作農業の展開
 - 環境を活かす(環境特A、環境王国の認定)
 - 他の地域資源を活用 (室戸海洋深層水を活用して甘みを醸し出す)
 - ・色・大きさ(1.9~2.0mm)・食味にこだわるお米
 - ・生産量(21年産米):64t
 - ・大口の取引相手(約1,100の米穀店と連携)
 - 約70店舗で販売(関東・東海地域が中心)
 - ・全国に向けアピール
 - 米・食味鑑定分析コンクール(11月開催、米・食味鑑定士協会・福島県天栄村共催)
 - 特別賞(水田環境の部)受賞(本山町特産品ブランド化推進協議会会員)
 - テレビで全国に向け紹介
 - ・新規雇用:1名(ふるさと雇用再生特別基金事業)
- ※総合補助金の導入
- (色彩選別機、米選機、乾燥機、食味分析機等の整備、
 - ブランド米の販促・PR活動等)
- 【今後の方向性】
- ・生産拡大と販路拡大、農家の収益増のため直接販売を増やす

4. 嶺北地域の成果(代表例)⑦

他に動きのあった取組

21-5(22-6)「(株)大豊ゆとりファームを核とする碁石茶等の地域資源を活用した産業再生への取組」大豊町、(株)大豊ゆとりファーム、大豊町碁石茶生産組合等(大豊町)

【取組の内容】

碁石茶の生産体制の強化と販路拡大
特産品を活用した加工食品開発・販路拡大
農作業受委託に拡大による農地の保全
野菜等の地産・地消ビジネスの展開



成 果

・碁石茶

生産量:2,700kg(21年度)

販売額:3,370万円(20年4月~21年10月)

販促・PR効果による知名度の向上

→大口の取引先を通じ、ドラッグストアを中心に販路拡大(約800店舗)

・(株)大豊ゆとりファームと大豊町ふるさと生産組合の統合を視野に入れた
取り組み

集荷ルート:2ルート→3ルート

町内全域でのルート構築を目指した取組 →22年度に構築予定

・地域特産品の加工

銀不老を素材とするロールケーキの開発

→高知市内の旅館で「銀不老ロールケーキ」として販売開始

・組織体制の強化(法人化)

碁石茶生産組合→碁石茶協同組合(22年4月)

・新規雇用

3名(ふるさと雇用再生特別基金事業)

※総合補助金の導入

(碁石茶の販促・PR活動、保管庫・糶摺り機等の整備、集荷販売等の体制整備(POSシステムの導入、集荷ルートの調査等)、農地保全)

【今後の方向性】

・碁石茶の生産拡大と販路拡大、野菜等の直販システム体制の構築

4. 嶺北地域の成果(代表例)⑧

他に動きのあった取組

21-12 (22-14) 木工製品の製造・販売による地域の活性化」

ばうむ合同会社等(嶺北地域全域)

【取組の内容】
商品開発
販路拡大



成 果

<ばうむ合同会社>

- ・本山町商工会青年部木部会「ばうむ」

(机・椅子等の木製品の製造・販売)



地域の中にある資源の活用を目指して起業

ばうむ合同会社(平成22年2月)

木工業、人材育成、食品加工販売の事業展開を目指す

- ・展示・販売ショップのオープン(21年9月)
- ・レーザー加工機器導入

商品開発・販売(「ヘルティークッズ」等)

【今後の方向性】

- ・新商品の開発、販路の拡大

4. 嶺北地域の追加・拡充項目(代表例)①

追加項目

1. 22-7 **JA出資型法人による地域活性化の取組**
 - ・事業内容: JA出資型法人の設立、事業(農作業受委託等)展開
 - ・事業主体: JA土佐れいほく
2. 22-17 **木質バイオマス利用拡大の取組**
 - ・事業内容: 加工施設の設置、木質バイオマスボイラー等の導入・設置
 - ・事業主体: 民間事業者等
3. 22-22 **白髪山・工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組**
 - ・事業内容: 事業推進体制等の仕組みづくり、受入体制の整備(ソフト、ハード)
 - ・事業主体: 民間団体等(未定)、本山町
4. 22-23 **早明浦ダムを活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組**
 - ・事業内容: 早明浦ダムを活用した交流人口の拡大の取組
 - ・事業主体: 民間団体等(未定)、土佐町雇用創造協議会、土佐町

4. 嶺北地域の追加・拡充項目(代表例)②

拡充項目

1. 項目を分割

21-1 れいほくブランドの園芸産地の確立とユズの加工拠点づくり



22-1 れいほくブランドの園芸産地の確立

22-2 ユズ産地の確立と加工拠点づくり

2. 事業主体の追加等の一部修正

- ・ 「21-2 (22-3) 集落営農で元気な地域づくり」の事業主体に伊勢川営農組合(土佐町)を加えるなど、**事業主体を追加するもの** → 5件
- ・ 「21-3 (22-4) 米粉を活用したビジネスの展開」の対象町村に大川村を加えるなど、**対象町村を追加するもの** → 4件
- ・ 「21-8 (22-10) 土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開」における平成23年度予定の専用処理施設の整備を平成22年度に変更するなど、**スケジュール修正を行うもの** → 4件

※件数は重複している。



仁淀川地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

5. 仁淀川地域の成果(代表例)①

重点的な取組

地域の特色を活かした多様な農業の展開

21-8 (22-9)「仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興」

JAコスモス、管内茶生産組織(仁淀川町、越知町、佐川町、日高村、いの町)

【取組の内容】

- ・仁淀川流域茶の統一したブランドの確立
- ・加工品の開発



成果

- ・販促資材の作成(ロゴシール、ポスター・パンフレット、のぼり等(総合補助金の導入))

- ・販促イベントへの参加(6回)

- * 平均集客500人以上

⇒ 流域茶の出荷量に占める製品茶の取扱量を拡大

7%(H20) → 15%(H23目標)

【今後の方向性】

- ・生産者のプロモーション能力の向上、マーケティング活動や商品開発への取組み

5. 仁淀川地域の成果(代表例)②

重点的な取組

地域の特徴を活かした多様な農業の展開

21-10(22-11)「力強い高糖度トマト産地の確立」 JAコスモス、JAコスモストマト生産部
(日高村、仁淀川町、佐川町)

【取組の内容】

- ・高糖度トマトの産地間競争力の強化



成果

・**トマト選果システムの改修**(JAコスモス)
(総事業費39,375千円、総合補助金の導入)

⇒ **糖度10度以上のトマト(ブランド化)**
トレーサビリティシステム導入による差別化

【今後の方向性】
・販売促進活動の充実



5. 仁淀川地域の成果(代表例)③

重点的な取組

「森の工場」などによる間伐の推進

21-14(22-15)「間伐の推進」

森林組合、林業事業者(仁淀川地域全域)

【取組の内容】

- ・森の工場の推進、林業担い手育成確保



成果

・新たに「森の工場」を4工場認定

- ⇒ 大西地区(間伐面積 35.00ha)
- 太田地区(間伐面積 11.47ha)
- 安居地区(間伐面積 26.97ha)
- 成川地区(間伐面積 63.84ha)

既設5工場
→ 9工場

- #### 【今後の方向性】
- ・森の工場の拡大



5. 仁淀川地域の成果(代表例)④

重点的な取組

「宇佐うるめ」の消費拡大 — 地域特産品のブランド化 —

21-18 (22-19)「うるめのブランド化」

宇佐うるめプロジェクト協議会(土佐市)

【取組の内容】

・「宇佐のうるめ」のブランド化



成果

・直販所「宇佐もんや」開設(H21. 12. 1)
⇒ 加工品、うるめいわし料理の提供

・県内外の店舗へ鮮魚の定期発送
(鮮魚の通年流通)



19店舗(県外3店舗、県内16店舗)

【今後の方向性】

・開発した商品を生産販売するための事業体制の確立

5. 仁淀川地域の成果(代表例)⑤

重点的な取組

滞在型・体験型観光の仕組みづくり

21-24 (22-35)「JRバス越知駅跡地を活用した中心市街地の活性化」 越知町(越知町)

【取組の内容】

・JRバス越知駅跡地の多面的な活用

・仁淀川地域資源活用共有会議に観光部会を設置
⇒ 流域全体のPR
地域連携による観光メニューづくり

成果

- ・越知町観光物産館おち駅整備(越知町)
(総事業費 73,014千円、総合補助金の導入)
⇒ 地場産品の売上拡大
観光交流人口の拡大

【今後の方向性】

- ・まちの駅を活用した観光、物産の情報発信の充実



5. 仁淀川地域の成果(代表例)⑥

他に動きのあった取組

21-25 (22-25, 22-26)「企業進出による
雇用の増と地元企業の活性化」

澁谷食品(株)、日高村(日高村)

【取組の内容】

・既存企業の活性化と新規進出企業の誘致



成 果

・芋屋金次郎ブランド製品の専用工場
を整備(日高村、澁谷食品(株))

(総事業費 380,000千円、総合補助
金の導入)

床面積:1,312.94㎡
新規雇用:4名(H22予定)

- ⇒ 大月町芋づくり等産地化育成協議
会との連携(産地づくり、農家15戸)
- ⇒ 自社ブランド部門の販売増(目標)
2.0億円(H21) → 3.5億円(H23)

【今後の方向性】

・県外への販路拡大など販売促進への取組み

5. 仁淀川地域の成果(代表例)⑦

他に動きのあった取組

21-1 (22-1)「地域の基幹品目及び推進品目等の産地の維持・発展」

JAとさし(土佐市)



* 延べ床面積 2,077㎡

21-2 (22-3)「土佐文旦の加工」

JAとさし、菊水酒造(株) (土佐市)

* 規格外品の加工による生産者所得の向上

成 果

・21年度JA集出荷施設整備(土佐市)
(総事業費 372,942千円、総合補助金の導入)

・22年度導入予定

光センサー選果機(文旦)

高精度重量選別機(生姜)

【今後の方向性】

・文旦の販売拡大

目標販売額

文旦 2.2億円

生姜 4.2億円

・文旦搾汁機器導入(菊水酒造(株))

(総事業費5,040千円、総合補助金の導入)

⇒ 搾汁量 (H21 20t)

【今後の方向性】

・果汁を使った商品の開発及び販売拡大

5. 仁淀川地域の追加・拡充項目(代表例)

追加項目

22-2「加工用ワサビの加工の促進」 事業主体:食品加工会社

加工用ワサビ
加工出荷施設の整備



取り組み内容

- ・練りワサビなどの原材料に使うワサビの1次加工処理量を増大
- ・衛生管理の向上



現状 80t ⇒ 目標 150t

現状 49戸 ⇒ 目標 110戸



県内の加工用ワサビ栽培農家の拡大



高幡地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

6. 高幡地域の成果(代表例)①

重点的な取組

○ 地域産物を活用した1.5次産業の振興①

<シイラ>

21-23 (22-25)「シイラを柱とした水産加工業の創設」興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合(四万十町)

【取組の内容】

◆企業組合の経営力の強化



成果



<シイラ>

実施主体:興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合 (H21.6設立)

- ・H21魚の購入(24t)142万円(平均購入単価60円/kg)
- ・H21加工品販売額423万円(原魚当たり金額178円/kg)
- ・雇用 正規3名、臨時職員5名(ふるさと雇用再生特別基金事業を活用)
- ・総合補助金による新たな加工販売施設がH22.1月竣工(64㎡)
- ・平成21年度高知県地場産業奨励賞受賞(シイラを活用した地域の新産地化活動)

6. 高幡地域の成果(代表例)②

重点的な取組

○ 地域産物を活用した1.5次産業の振興②

<カツオ>

21-28 (22-30)「かつお」まるごと商品開発プロジェクト」

企画ど久礼もん企業組合(中土佐町)

【取組の内容】

- ◆ 企業組合の体制強化
- ◆ 加工施設の確保



成果

<カツオ>

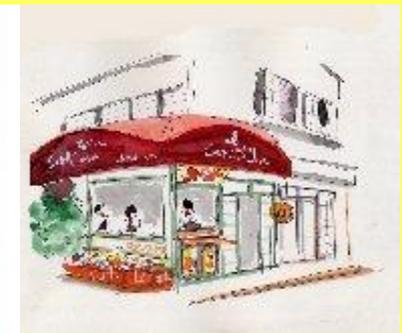
実施主体：企画ど久礼もん企業組合

・総合補助金によるファーストフード店がH22年3月完成(21㎡)

・新商品の開発(カラヤン、クレーパー、かつおボール、スープカレー、生姜ロール等)

・ニッポンいいもの再発見！、グルメ&ダイニングスタイルショーに出展

・平成21年度高知県地場産業奨励賞受賞(カラヤン)



6. 高幡地域の成果(代表例)③

重点的な取組

○ 拠点組織等による多角的な ビジネス展開①

21-32 (22-32)「拠点ビジネスの推進」
津野町、津野町ふるさとセンター等(津野町)

【取組の内容】

◆新たなアンテナショップの展開と加工所の整備



成果

- ・雨よけハウスや出荷所の整備、直販所ネットワークの強化、新たな商品開発等に取り組み中。
- ・直販所の売上高(4~1月) 103,051千円(前年対比4.2%増)
- ・宿泊者数(4~1月) 8,843人(前年対比5.8%増)



6. 高幡地域の成果(代表例)④

重点的な取組

○ 拠点組織等による多角的な ビジネス展開②

21-33 (22-33)「都市部へのアンテナ
ショップの創設」四万十町、(株)あぐり窪川(四
万十町)

21-34 (22-33)「拠点ビジネス体制の構
築」 四万十町、(株)あぐり窪川(四万十町)

【取組の内容】

◆拠点となるあぐり窪川の体制強化



成 果

- ・四万十町のイメージ戦略づくり
- ・2つの道の駅の連携による流通体制の運用試験等を実施(H21.8~とおわ・大正)
- ・あぐり窪川を拠点とする生産者組合の立ち上げ(H22.1設立:窪川あいあい市)
- ・海と山の素材を使った新商品の開発中(ルーロー飯、シイラのさかな饅頭、生姜プリン、シイラチャンジャ等)
- ・松山市・高知市でのアンテナショップの試行実験
(松山11月に4日間(2,300人、77万円の売上げ)、高知市3月に2日間、51万円)

6. 高幡地域の成果(代表例)⑤

重点的な取組

成果

○ 滞在型・体験型観光の推進①

<森林セラピー>

21-13 (22-15)「森林セラピー推進による地域活性化」 梶原町(梶原町)

21-32 (22-32)「拠点ビジネスの推進」
津野町、津野町ふるさとセンター等(津野町)



<森林セラピー>

梶原町松原

- ・科学的効果の解明に関する研究の実施
- ・森林セラピスト3名、セラピーガイド5名が誕生

- ・2軒の民宿が開業
- ・セラピー弁当の開発



津野町天狗高原

- ・セラピーガイド3名、天狗高原ガイド8名誕生

- ・セラピーロードの整備(約1km)

6. 高幡地域の成果(代表例)⑥

重点的な取組

成果

○ 滞在型・体験型観光の推進②

<龍馬伝>

21-37 (22-36)「体験型・滞在型観光の推進」 梶原町(梶原町)

【取組の内容】

- ◆ 近隣市町との連携した情報発信の取組
- ◆ 滞在型に向けての地域の魅力の磨き上げ



- ・ 1月16日梶原町サテライト会場オープン
- ・ 入場者数8,455人(3月14日現在)
- ・ ゆすはら社中による観光案内(794人)
- ・ 町観光交流センター「まちの駅『ゆすはら』」が着工(H22年8月完成予定)



6. 高幡地域の成果(代表例)⑦

重点的な取組

成果

○ 滞在型・体験型観光の推進③

<ホビー館>

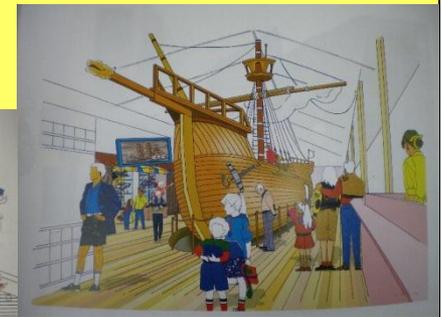
21-38 (22-37)「海洋堂ホビー館の誘致」 四万十町、(株)海洋堂(四万十町)

【取組の内容】

◆四万十町全体としての観光客誘致への取組の強化



- ・海洋堂との協定締結(7月15日)
 - ・基本設計完成(22. 2月:海洋堂作成)
 - ・打井川地区住民によるワークショップ(延べ12回)開催
- 観光客の誘致や地場製品の販売などの検討



6. 高幡地域の成果(代表例)⑧

他に動きのあった取組

21-8(22-8)「農大跡地の活用」(四万十町、
営農支援センター四万十(有)(四万十町)

【取組の内容】

◆移住促進への関係機関の取組の推進



成 果

＜四万十町滞在型市民農園＞

愛称:クラインガルテン四万十

H22年4月開園

- ・コテージ15棟、貸農園16区画の建設(竣工H22.3)
- ・入居募集(H22.1.4~2.26)
- ・申込件数47件(うちコテージ38件(町外26件))



6. 高幡地域の成果(代表例)⑨

他に動きのあった取組

21-22 (22-24)「スラリーアイスを活用した魚価向上対策」中土佐町(中土佐町)

【取組の内容】

- ◆本格的取引を見据えた評価協力店の確保
- ◆地元漁業者や関係業者等への普及・啓発



成 果

- ・総合補助金によるスラリーアイス実験施設がH21.11完成(76㎡)
- ・魚の鮮度保持実験等を開始(H21はカツオ(タタキ)など4種類)
- ・福岡のホテルなどでの官能評価(見た目・味・食感)で高評価を得る。
- ・平成21年度高知県地場産業大賞受賞(スラリーアイス製造装置)

6. 高幡地域の成果(代表例)⑩

他に動きのあった取組

21-30(22-31)「地場産品の販売促進」 梶原町(梶原町)

【取組の内容】

◆大上厚シイタケの生産体制の整備と販売戦略の構築



成 果

＜四万十源流大上厚シイタケ＞

- ・高知県乾椎茸品評会にて県知事賞ほか梶原町生産者が上位6人受賞(H21.5)
- ・(株)キハチアンドエスの熊谷喜八社長より高評価を得る(H21.7)
- ・東京の高級料理店との直接取引開始(H21.9)
- ・「土佐のいい物・おいしい物発見コンクール」で大賞を受賞(H21.11)
- ・「津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大」として新規APIに位置付け

6. 高幡地域の追加・拡充項目(代表例)

追加項目

1. **22-9「四万十町の有機野菜を使った加工品の開発・販売拡大」**
(事業主体: 桐島畑)
2. **22-10「四万十の栗再生プロジェクト」**
(事業主体: 四万十の栗再生プロジェクト推進協議会)
3. **22-11「四万十町地産外商の推進」**
(事業主体: 四万十町地産外商推進協議会)
4. **22-17「津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大」**
(事業主体: JA津野山)
5. **22-26「シイラ加工食品の生産拡大」**
(事業主体: (株)けんかま)



幡多地域

～平成21年度の活動実績と平成22年度改定のポイント～

7. 幡多地域の成果(代表例)①

重点的な取組

地域産物を活用した1.5次産業の振興

21-23(22-29)「地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業」 土佐清水元気プロジェクト(株)、土佐清水市(土佐清水市)

【取組の内容】
原材料収集の仕組みづくり、新商品開発



土佐清水元気プロジェクト(加工場)

成果

- ・農産物流通システム、特産品開発など(総事業費40,027千円)
⇒新商品開発(10品以上)、メジカ水揚げ(H20:1,464t⇒H21:1,795t)

【今後の方向性】
販路の拡大、更なる魅力的な商品開発



主な新商品



清水サバの竜田揚げ

7. 幡多地域の成果(代表例)②

重点的な取組

地域産物を活用した1.5次産業の振興

21-27 (22-35)「黒潮印の商品開発」

黒潮町特産品開発推進協議会、黒潮町(黒潮町)

【取組の内容】

地元の特産品を活かした商品開発、販路拡大



ラッキョウ、
黒糖小袋



サトウキビ畑

21-17 (22-20)「にぎわいづくりを中心とした地域活性化のための魚加工施設の整備」

すくも湾漁業協同組合(宿毛市)

【取組の内容】

地元での魚の一次加工、雇用の拡大

成果

・サトウキビ等の販売基盤整備、特産品開発(総事業費12,713千円)

⇒新商品開発(6品)

製パン会社との取引成立(黒糖)

【今後の方向性】

サトウキビの生産拡大、拠点施設の確保、組織の充実

・水産加工施設整備

(総事業費16,973千円)

⇒魚加工(6t)、取引先10社、雇用4名

【今後の方向性】

取引先の拡大

7. 幡多地域の成果(代表例)③

重点的な取組

滞在型・体験型観光の推進

21-30 (22-38) 「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入事業の推進

幡多広域観光協議会(幡多地域全域)

【取組の内容】

地元受け入れ体制の整備・充実

21-31 (22-39) 「幡多広域における滞在型・体験型観光の推進」

幡多広域観光圏協議会(幡多地域全域)

【取組の内容】

地域コーディネート機能の充実

成果

・食品衛生、民泊、インストラクター研修の実施(4回)、**受入人数(1校49人→5校120人)**

【今後の方向性】

体験プログラムの充実

・幡多広域観光協議会の法人化(H22. 4月)

【今後の方向性】

誘客の仕組みづくり、受け入れ側の連携強化、着地型旅行商品の販売



鰹タタキ体験

くろしお社中

7. 幡多地域の成果(代表例)④

他に動きのあった取組

21-28(22-36)「カツオ文化のまちづくり事業」 黒潮町商工会、黒潮町(黒潮町)

【取組の内容】
販売ルートの開拓・確立、交流人口の拡大

21-26(22-33)「拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)」

(財)大月町ふるさと振興公社(大月町)

【取組の内容】
地元の特産品を活かした新商品開発、販路拡大、大月町の魅力発信

成 果

- ・カツオ関連商品開発、関連イベント開催
新商品(試作品)⇒ 2品
交流人口 5, 200人⇒ 8, 700人



もどりカツオ祭



鯉カツ・鯉団子

- ・大月町の魅力を活かした取り組み
新商品開発 ⇒ 5品
販路拡大(カタログ通販、ネット販売)
⇒夏・冬のセット商品販売約900件



ひがしやま

7. 幡多地域の追加・拡充項目(代表例)①

追加項目

1 22- 8「芋等、持続可能な農業の仕組みづくり事業」

事業主体: 芋づくり等産地化育成協議会、大月町

2 22-18「町内の持続可能な山林資源を活用した製炭及び祝風の産業化」

事業主体: 大月町伝統産業育成協議会

3 22-21「宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の整備」 事業主体: 民間事業者

4 22-22「民間企業との連携による水産物の販路拡大」 事業主体: すくも湾漁業協同組合

5 22-23「サメ漁業復活に向けた取り組み」 事業主体: 土佐清水市水産振興協議会

6 22-32「栗から始まる西土佐地産外商プロジェクト」

事業主体: 四万十栗再生プロジェクト委員会、(株)しまんと美野里、四万十市

7 22-34「莓を核とした6次産業化」 事業主体: 農業生産法人 莓氷り本舗

8 22-41「竜串ふれあい観光施設整備事業」

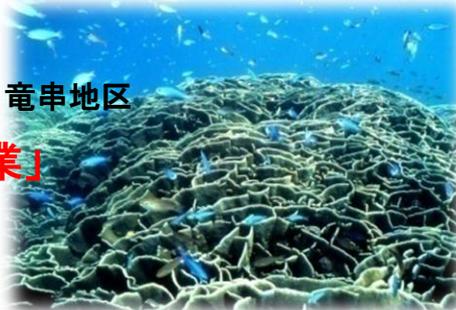
事業主体: 土佐清水市、NPO竜串観光振興会、竜串地区

9 22-42「土佐清水まるごと戦略観光展開事業」

事業主体: 土佐清水市観光協会、
土佐清水市、地域活動団体



地域住民による観光案内の様子



竜串の海中

7. 幡多地域の追加・拡充項目(代表例)②

拡充項目

- 21-8「安全で安心な施設野菜・花卉・菌茸栽培・畜産等の推進(新品目・新品種の導入など)」
 - ⇒ 事業内容の具体化が進んだため、22-9「廃菌床の活用等、地域資源活用型の農業の推進」に事業名を変更

- 21-9「中山間地域の保全と活性化」
 - ⇒ 内容の具体化が進み、22-10「佐賀温泉を拠点にした地域活性化事業(中山間地域の保全と活性化)」と、22-11「弘法大師と生きた里山再生プラン(中山間地域の保全と活性化)」に分割